

農村工学技術研修の開催

技術移転部技術研修室

1. 農村工学専門技術研修（農村計画・地域資源）の実施

9月24日（水）～26日（金）の期間、参加人数45名（国8名、県22名、土地連15名）で実施しました。

本研修は農村計画及び農村の地域資源に係る専門的知識の修得により指導的役割を担える技術者としての能力向上を図ることを目的としてオンラインで実施しました。

本研修では、地方創生2.0、農山漁村の活性化、農泊の推進、ランドスケープ、鳥獣害対策、再生可能エネルギーなど、農村計画・地域資源に関する幅広い内容の講義を行いました。

2. 農村工学専門技術研修（BIM/CIM）の実施

9月10日（水）～12日（金）の期間、参加人数18名（国18名）で実施しました。

本研修は3次元データ等を活用したBIM/CIMに係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力の向上を図ることを目的として、ハイブリッド形式で実施しました。本研修では、国営土地改良事業等におけるBIM/CIM活用ガイドラインの解説、農業農村整備分野におけるBIM/CIM活用事例の紹介、一人一台パソコンを利用したBIM/CIM対応ソフトウェア演習等を行いました。

3. 農村工学専門技術研修（用水計画と河川協議）の実施

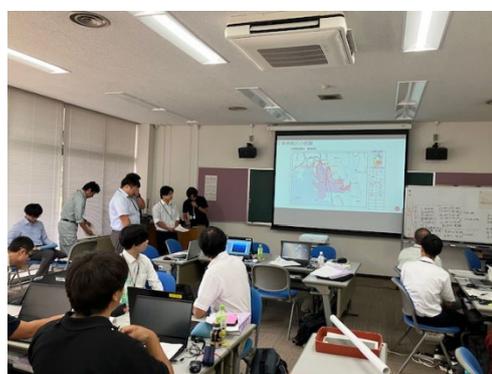
9月24日（水）～10月3日（金）の期間、参加人数47名（国15名、県19名、水資源機構1名、土地連11名、改良区1名）で実施しました。

かんがい用水等の取水に必要な用水計画や河川協議に係る専門的知識の習得と事例研究や実践演習により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図ることを目的としており、2週間の研修期間のうち、座学中心の1週目はオンライン研修とし、実習を行う2週目は集合研修で実施するハイブリッド形式で実施しました。

本研修では、河川協議の実務、用水計画の講義及び演習、個別地区の事例研究及び事例発表を行いました。また、河川協議の相手方となる国土交通省の担当官に講義を依頼し、河川管理者の立場から河川協議の実情に関する講義をして頂きました。



「用水計画と河川協議」研修
事例研究状況（グループワーク形式）



「用水計画と河川協議」研修
発表会状況